

(1)自治体名：群馬県	(2)知事・市区町村長名：大澤正明
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
<p>[標題] 育てます群馬の子ども 支えよう若者の未来 ~産みやすく、育てやすい環境づくりを目指して~</p>	
<p>[メッセージ](50~100 字程度)</p> <p>群馬県は、地域で子どもを安心して生み育てられる環境づくりを目指します。また、次代を築く若者の安定した就労や家族形成など、様々な夢をかなえるための支援を行います。</p>	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
<p>[アピールポイント](50 字以内)</p> <p>中学生以下の子ども医療費の完全無料化、携帯インターネットの適正利用の推進、若者の家族形成への支援</p>	
<p>[概要](200 字以内)</p> <p>子育て世帯の負担を軽減するため、平成 21 年 10 月 1 日から、全国初の試みとして、県内全市町村で、子どもの医療費を入通院とも所得制限なしで無料化している。また、携帯インターネットの有害情報から子どもを守るため、問題解決を図る知識・技能を持った市民インストラクターを養成し(現在 62 名)、各地域で開催される講習会等に派遣している。さらに、結婚を希望する独身男女のため、出逢いサポート事業を実施している。</p>	
(5)担当課 / 直通番号	生活文化部少子化対策・青少年課/ 027 226 2392
(6)HP の URL 記載可	http://www.kodomo.pref.gunma.jp/

(1)自治体名：群馬県 前橋市	(2)知事・市区町村長名： 高木 政夫
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[標 題] 子どもを育てるなら前橋で！！	
[メッセージ](50～100 字程度)	
<p>次代を担う子どもたちに、希望を持って「元気に、健やかに、たくましく」成長して欲しいと願い、子育て支援策や教育環境の充実を図り、安心して子育てができるまちづくりを進めています。</p>	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[アピールポイント](50 字以内)	
<p>中学校卒業までの医療費無料化 こども交流プラザ(子育てひろば、こども図書館)の設置 第三子保育所保育料の無料化実施 小学校教科支援講師の配置 学校支援寺子屋事業の実施</p>	
[概要](200 字以内)	
<p>中学校卒業までの医療費や第三子保育所保育料を所得制限などを設けずに無料化しました。さらに、豊富な遊具をそろえ、親子が安心して一緒に遊べる場所であるとともに、子育て世代の交流や子育て相談などの機能を提供する「子育てひろば」と、ワンフロアでは日本最大級の「こども図書館」を併設した「こども交流プラザ」を設置し、子育て支援施策の充実を図っています。</p> <p>教育分野では、全小学校に市独自の「教科支援講師」を配置し、教師と連携したきめ細かな指導を行うとともに「学校支援寺子屋事業」により、児童と地域の方々の学習などを通じた交流を深め、児童の基礎学力向上と豊かな人間性の育成を推進しています。</p>	
(5)担当課 / 直通番号	政策部政策推進課 / 027 898 6513
(6)HP の URL 記載可	http://www.city.maebashi.gunma.jp/

(1)自治体名： 群馬県桐生市	(2)知事・市区町村長名： 亀山 豊文
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[標題] 子育て都市桐生を目指して	
[メッセージ](50～100 字程度) 桐生市には、豊かな自然と先人たちによって育まれた伝統や歴史・文化があります。このような素晴らしい環境の中で、安心して子どもを産み育てられる街として「子育て日本一」を目指します。	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[アピールポイント](50 字以内) 土日も開館している子育て支援センター及び市役所内に託児コーナー設置	
[概要](200 字以内) 平成21年4月 JR 駅前の保健福祉会館に、子育てと健康の拠点施設として、子育て支援センターをオープンし、祝日を除いて毎日開館しています。乳幼児健診や子育て相談など母子保健との連携を密にし、育児不安などへの迅速な対応を図っています。 また、平成20年4月には、市役所内に託児コーナーを設け、お子さま連れの市民が安心して申請や相談ができるように保育士が対応し、大変好評を得ています。	
(5)担当課 / 直通番号	保健福祉部子育て支援課/ 0277 46 1111 (308)
(6)HP の URL 記載可	http://www.city.kiryu.gunma.jp

(1)自治体名：群馬県太田市	(2)知事・市区町村長名：清水聖義
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[標題] 太田市第3子以降子育て支援事業	
<p>[メッセージ](50～100字程度)</p> <p>太田市長発案により、平成20年度からスタートした事業で、第1子については国が、第2子については県が、そして第3子以降は市が支援するという基本的考え方に基づき、子育て家庭の経済的負担を軽減させるため、第3子以降の子どもの出産から中学校卒業までの基本的な子育て費用について支援を行なっている</p>	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
<p>[アピールポイント](50字以内)</p> <p>事業実施後1年で「1,000人当たりの子どもの出生数」が群馬県内第1位となる等、期待どおりの成果を挙げている。</p>	
<p>[概要](200字以内)</p> <p>具体的な事業内容としては、出産祝金(10万円の支給)、保育園・幼稚園保育料助成(全額免除または助成)、小中学校就学助成(1年に6万円の太田市金券を支給)等であり、初年度は約3億円の市単独予算を計上し、約3,500件の助成を実施した。</p> <p>この事業の実施により、出産や子育てに対する意識が向上し、その結果少子化に歯止めがかかり、出生率が高まることを最終目標としている。</p>	
(5)担当課 / 直通番号	福祉こども部子育て支援室 / 0276-47-1950
(6)HPのURL記載可	http://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0070-011kenko-kosodate/shiensa-ku.html

(1)自治体名：群馬県渋川市	(2)知事・市区町村長名：阿久津 貞司
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[標題] 笑顔で子育てができるまちづくり	
[メッセージ](50～100 字程度) 次代を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境を整えるため、子育て家庭の立場・視点に立った支援プログラムの拡充に努めます。	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[アピールポイント](50 字以内) 子育て支援センターを拠点に全ての公立保育所及び幼稚園を週一回巡回し、親子のふれあいの場を充実化。	
[概要](200 字以内) 家族形態や地域社会の変化により、1人で悩みを抱える保護者も増えており、育児ストレスや幼児虐待などの要因になっているといわれています。このような状況を踏まえ、利用者の利便を考慮して市の子育て支援センターでは、センターで実施すると共に全ての公立保育所及び幼稚園を巡回しています。また、子育て支援センターを民間保育所8カ所へ委託することや子育てサロンを9カ所で開催し、親子の交流の場を多く設けています。	
(5)担当課 / 直通番号	保健福祉部こども課 / 0279 22 2415
(6)HP の URL 記載可	http://www.city.shibukawa.gunma.jp/kosodate/kosodateshien/shiencenter.html (地域子育て支援センター)

(1)自治体名：群馬県 昭和村	(2)知事・市区町村長名： 加藤秀光
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[標題]「子育てしたい昭和村」づくり	
[メッセージ](50～100 字程度) 働く若い世代が「子育てしたい昭和村」と感じられるよう、また、本村で生まれた子どもたちが、目を輝かせながら元気に遊び、学び、自立に向けた様々な体験ができる村づくりを進めます。	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[アピールポイント](50 字以内) 21年度から、保育園児の保護者に経済的支援をします。またヒブワクチン接種の補助をスタートさせました。	
[概要](200 字以内) 子育て支援金事業として村内在住の保育園児保護者に対して、年間保育料の2割程度を支給する事業を今年度からスタートしました。 ヒブが原因で髄膜炎が発症すると約5%が死亡、約25%は重い後遺症がみられるといわれており、乳幼児の健やかな成長を目的に、ヒブワクチン接種補助事業を開始しました。補助は費用の1/2で、保護者から喜びの声が聞かれていて21年12月現在申請は54件です。	
(5)担当課 / 直通番号	保健福祉課 / 0278 24 5111 25
(6)HPのURL 記載可	http://www.vill.showa.gunma.jp/

(1)自治体名：群馬県みなかみ町	(2)知事・市区町村長名：岸 良昌
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[標題] こどもを産み育てるならみなかみ町	
[メッセージ](50～100 字程度) 平成21年4月に公設民営で開設した子育て支援センターを中心に、地域の子育て支援に関する人材の育成に努め、地域住民と行政が連携した子育てしやすい環境づくりを目指します。	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[アピールポイント](50 字以内) ・子育て支援条例の制定 (H20.9) ・経済的支援 ・地域子育て支援センター事業の充実 (H21.4 開設)	
[概要](200 字以内) 経済的支援として、インフルエンザ予防接種補助金(季節性:中学生以下 限度額4千円、新型:健康な65歳以上の人を除く優先接種者 半額補助)、保育料の軽減(国の基準額以下の保育料設定、同時就園第二子以降軽減)。 子育て支援センターは、地元住民を中心としたNPO法人が運営しており、就学前の親子に広場を提供し、子育て相談も受けています。現在、人材育成や関係団体のネットワーク形成に努めています。	
(5)担当課 / 直通番号	子育て健康課 / 0278 25 5009
(6)HPのURL記載可	

(1)自治体名：群馬県 大泉町	(2)知事・市区町村長名： 斉 藤 直 身
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[標 題] 健やかに みんなの輪で育む大泉町	
[メッセージ](50～100 字程度) 次代を担う子どもたちは、家庭の宝ということだけではなく、かけがえのない地域社会の宝でもあります。子どもたちが夢を抱き育むための環境づくりに努め、子育て世代を応援します。	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[アピールポイント](50 字以内) 保育園、児童館、保健福祉総合センター等公共施設を中心に、各種事業を展開して子育てを支援しています。	
[概要](200 字以内) 大泉町は、電機や自動車関係企業を中心に、働く町、工業の町として発展してきました。保育園では待機児童の解消に努め、また子育て支援センター事業の実施。児童館は小学校通学区内にそれぞれ 1 館あり、放課後学童保育の実施の他、赤ちゃん広場、親子教室等の実施。保健福祉総合センターでは、乳幼児健診や育児等健康支援事業の実施。その他の公共施設では、働く親の学級や就学前等家庭教育、ブックスタート事業等を実施しています。	
(5)担当課 / 直通番号	福祉課児童福祉グループ/0276 55 2631
(6)HP の URL 記載可	http://www.town.oizumi.gunma.jp